

平成14年度徳島県環境審議会総会（第2回会議）会議録

1 日 時

平成14年11月15日（金） 午後1時30分から午後2時50分まで

2 場 所

徳島プリンスホテル1階 プリンスホール

3 出席者

< 委員 > 委員名40中24名出席

（1号委員：学識経験者、50音順、敬称略）

池田早苗委員、岩崎正夫委員、奥村清委員、片山悦子委員、喜多知子委員、近藤光男委員、杉本直樹委員、住村裕子委員、瀬尾規子委員、曾良寛武委員、寺戸恒夫委員、中村英雄委員、藤岡幹恭委員（副会長）、藤村知己委員（副会長）、水野裕委員、三好保委員（会長）、本久ミドリ委員、森本初代委員、山内美登利委員、吉田フクエ委員

（2号委員：市町村長）

出席者なし

（3号委員）

宮北順一委員、市原信男委員、萩尾憲三委員、安富裕二委員

（事務局）

宮崎県民環境部環境局長、門田県民環境部参事、ほか

（会議次第）

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）審議会の運営に関すること

審議会の公開に関する諸規定について

（2）諮問及び審議

「徳島県環境基本計画（仮称）のあり方について」（諮問）

（3）その他

4 閉 会

会議資料

（議事1関係）

・徳島県環境審議会公開要領（案）

・徳島県環境審議会（平成14年度第1回総会）会議録

（議事2関係）

資料1 「徳島県環境基本計画のあり方」の諮問経緯について

資料2 計画策定の基本的考え方について

資料3 計画策定に当たり具体的に審議いただきたい事項等

資料4 都道府県における環境基本計画策定状況について

別 冊 環境基本計画<環境の世紀へのみちしるべ>のあらまし

別途配布 徳島県環境基本計画（仮称）のあり方について（諮問文書/写）

(議事概要)

1 開 会

(事務局)

定刻がまいりましたので、ただ今から徳島県環境審議会を開会いたします。

- ・事務局から、本日の出席委員は24名で、当審議会委員数40名の過半数を超えており、審議会運営規程の規定により、会議が成立していることを報告した。

2 あいさつ

(飯泉県民環境部長)

3 議 題

(1) 審議会の運営に関すること

審議会の公開に関する諸規定について

(事務局) 議事1関連の資料について説明

- ・「徳島県環境審議会公開要領(案)」を原案どおり承認した。(同日から施行)
- ・前回の審議会(平成14年10月10日開催)の会議録を承認した。

(2) 諮問及び審議

「徳島県環境基本計画(仮称)のあり方について」

- ・県民環境部長から、徳島県環境審議会会長に対して「徳島県環境基本計画(仮称)のあり方」について諮問し、受理された。

(事務局) 会議資料1～4について説明

(委員)

徳島県では他の都道府県のような環境基本計画ではなく環境プランがあるが、他の都道府県でも同様なのか。

(事務局)

県環境基本条例に先行して策定された徳島環境プランの内容及び構成は他の都道府県の総合的な環境基本計画と変わりなく、同様の役割を果たしてきた。その後、環境基本条例が制定され、条例に基づいた計画を策定するということである。

(委員)

資料中の年次の表現は、年号と西暦の併記が良い。

(会長が諮問案件について環境政策部会に付議することを提案し、了承された)

(環境政策部会長)

環境政策部会の議論の節目ごとに、この総会に諮るか、あるいは関連部会の方と意見を交換するとともに、しかるべき時期に有効な手法でパブリックコメントを公平に行うこととしたいと考えている。また、本日の資料3にある審議事項を環境政策部会に預からせていただき、それ以外に審議項目がある場合は、県から再度提案していただき、環境政策部会で決定したいと考える。

(委員)

前回の環境審議会総会で各部会の委員は決定しているが、環境政策部会の委員に自然保護団体の委員がいない。この部会に徳島県の鳥獣保護の調査に携わり、県の生態系の情報に詳しい委員を加えてはどうか。

(環境政策部会長)

その件は会長が副会長及び事務局と協議し、会長提案として決定してはどうか。

(委員)

異議なし

(会長が、副会長及び事務局と協議し、環境政策部会の委員数を15名とし、
曾良寛武委員を加えることを決定)

(計画に関して、会長から各委員に対して意見等を確認)

(会長)

他に意見がないようなので、本日の議事を以上で終了する。

(3) その他

(事務局)

・引き続き開催する環境政策部会から、本日の承認いただいた審議会公開要領
を踏まえた手順をとることを報告。

4 開 会

(事務局)

以上を持ちまして環境審議会を閉会と致します。どうも長い時間ありがとうございました。